

2020 年度 JEAS 第 16 回技術交流会 展示発表

タイトル、発表者、所属	技術紹介の要旨（展示内容）
「生物多様性の向上を目指したグリーンインフラの整備（事業所緑地の活用）」 発表者（代表者） 栞原 淳 （株）環境アセスメントセンター 発表者（共同研究・共同発表） 馬場美也子、今井久子、出縄二郎 （株）環境アセスメントセンター	生物多様性保全への取組みの一つとして、三菱電機静岡製作所では、2016 年から事業所内の一部の緑地を地域の生物多様性の向上を目指した「よりみち緑地」を整備するとともに、同緑地を活用した観察会を実施している。このような緑地の整備や活用は、生き物の生息・生育空間の提供、あるいは健康・レクリエーションなどの文化を提供する「グリーンインフラ整備」として位置づけられる取り組みである。 「よりみち緑地」には、①多様な生物がよりみちできる植物、②地域生態系を攪乱する恐れのない植物（外来植物・園芸植物以外の植物、周辺地域の開発工事で失われる植物）、③来訪者に対し、視覚的に配慮した植物（開花時期、冬季の緑量確保など）、を導入した。事業所内の緑地規模に適した整備目標をたて、その目標を達成するための配植と必要な植物を導入することで、整備後の緑地は多くの生物が“よりみち”できる環境に変化しつつある。

生物多様性の向上を目指した **緑地（グリーンインフラ）**
の整備を行うことで・・・